

# ひろしまハンドボール



hiroshima handball

No.78

2011.3.1

発行 広島県ハンドボール協会

発行人 山本 一

〒730-0048

広島市中区竹屋町1-24

インテリア・ニシ内

Tel 082-241-5634

Fax 082-242-0075

hiroshima-handball-k@ccv.ne.jp

## 日本リーグレギュラーシーズン終了

湧永製菓はレギュラーシーズン最終戦こそトヨタ紡織に引き分けたが2位となり、12年連続17度目のプレーオフ進出を決め、準決勝で大同特殊鋼と対戦する。

2月5日に再開したリーグで大崎電気に競り勝って大崎電気、大同特殊鋼に続いて3枚目のプレーオフキップを獲得。その後も北陸電力、豊田合成に連勝、10勝ラインに到達した。

12年優勝から遠くかっている湧永、9度目のVを目指す。

### V 湧永 2位 へ 闘志

## メイプル、4年ぶりPO出場



3位を確保、大喜びのメイプルレッズ

#### 《レギュラーシーズン成績》

■湧永製菓■

- 22 (6 -13, 16-14) 27大同特殊鋼
- 28 (11- 9, 17-12) 21琉球
- 29 (15-12, 14-16) 28トヨタ車体
- 24 (10-11, 14-10) 21北陸電力
- 30 (17-13, 13-21) 34大崎電気
- 28 (17-12, 11-10) 22豊田合成
- 30 (15-13, 15-12) 25トヨタ車体
- 33 (15- 6, 18-11) 17琉球
- 37 (14- 9, 23- 8) 17大同特殊鋼
- ▽26 (16-13, 10-13) 26トヨタ紡織
- 29 (10-11, 19-16) 27大崎電気
- 30 (15- 8, 15-11) 19北陸電力
- 32 (20-12, 12- 9) 21豊田合成
- ▽33 (16-17, 17-16) 33トヨタ紡織

■メイプルレッズ■

- 21 (12- 9, 9 -17) 26北国銀行
- ▽25 (12-13, 13-12) 25オムロン
- 39 (17-10, 22- 6) 16HC名古屋
- 35 (18-15, 17-14) 29三重
- ▽28 (13-13, 15-15) 28ソニー
- 28 (18-10, 10-13) 23オムロン
- 23 (9 -13, 14-15) 28北国銀行
- 35 (23- 4, 12- 6) 10HC名古屋
- 33 (14- 9, 19-12) 21三重
- 28 (15-17, 13-15) 32ソニー
- 24 (15-17, 9 -10) 27北国銀行
- 22 (7 -11, 15- 7) 18オムロン
- 35 (15- 9, 20-11) 20HC名古屋
- 36 (17- 8, 19- 7) 15三重
- 29 (17- 9, 12-13) 22ソニー

#### ◆日本リーグ勝敗表◆

(レギュラーシーズン終了)

《男子》		勝	分	敗	勝点
①大崎電気	12	0	2	24	
②湧永製菓	10	2	2	22	
③大同特殊鋼	10	0	4	20	
④トヨタ紡織	7	3	4	17	
⑤トヨタ車体	7	1	6	15	
⑥琉球	3	1	10	7	
⑦豊田合成	2	0	12	4	
⑧北陸電力	1	1	12	3	
《女子》		勝	分	敗	勝点
①北国銀行	12	0	3	24	
②ニセコガク	10	1	4	21	
③メイプルレッズ	9	2	4	20	
④オムロン	9	1	5	19	
⑤三重	2	0	13	4	
⑥HC名古屋	1	0	14	2	

## ソニーに快勝 自力で3位に

メイプルレッズが自力で3位を確保、4年ぶりのプレーオフ進出を決めた。

負ければ4位に転落する大一番。セブンは絶対プレーオフへの強い気持ちでソニーに挑んだ。呉龍基監督は「今季でのベストゲーム。気持ちで負けなかったのが白星につながった」と感無量の表情。主将の土屋や3冠に輝いた植垣らは「プレーオフでも絶対勝つという強い気持ちで戦う」と2週間後の決戦をにらんだ。

駒沢体育館でのプレーオフは12日、まず準決勝でソニーと対戦、勝てば13日に北国銀行と戦う。

#### ◆得点個人ランキング◆

男子		*得点王*	女子	
①藤山 岳士 (紡織)	98点	①植垣 暁恵 (メイプル)	121点	
②宮崎 大輔 (大崎)	86点	②伊藤亜衣美 (三重)	102点	
③呉 相民 (紡織)	84点	③藤井 紫緒 (オムロン)	92点	
*フィールド得点*		*フィールド得点*		
①宮崎 大輔 (大崎)	86点	①植垣 暁恵 (メイプル)	83点	
②今村 彰伸 (合成)	83点	②藤井 紫緒 (オムロン)	75点	
③呉 相民 (紡織)	83点	③伊藤亜衣美 (三重)	74点	
*シュート率*		*シュート率*		
①新 建二 (湧永)	・692	①高瀬 由香 (ソニー)	・808	
②村上 秀行 (紡織)	・637	②高橋 恵 (ソニー)	・670	
③門山 哲也 (車体)	・607	③横嶋かおる (北国)	・657	
*7人スロー得点*		*7人スロー得点*		
①東長 濱秀希 (大崎)	23点	①植垣 暁恵 (メイプル)	38点	
②野田 祐希 (合成)	19点	②伊藤亜衣美 (三重)	28点	
③藤山 岳士 (紡織)	18点	③上町 史織 (北国)	27点	

## 植垣 3冠

### 個人タイトル

個人タイトル争いは最後までもつれたが、メイプルレッズの日本代表、植垣が得点王、フィールド得点賞、7人スロー得点賞の3冠を獲得した。個人タイトルは32回の新人賞を除いて初めて。3冠はメイプルでは27回の呉成玉いらい。

一方、男子では湧永製菓の新がシュート率賞を初めて獲得した。湧永のシュート率賞は31回の渡辺以来。

全日本実業団チャレンジ2011は2月11日から3日間、北陸電力福井体育館フレアで11チームが参加して開かれた。

マツダは1回戦で優勝したトヨタ自動車に敗れて順位決定戦回り、ブラザー工業戦のあと9位決定戦でも豊田自動織機に20(10-11)、10(10-15)26で苦杯10位となった。

マツダ10位 実業団チャレンジ



3 競技観戦記

### 会場の盛り上げに特徴

今回は、フランクフルトとケルンで観戦したバスケットボール、ハンドボール、バレーボールの試合の様子を紹介しましょう。

バスケットボールはブンデスリーガの試合で、フランクフルト市営の体育館で開催され、5000人収容施設に3000人の観客を集めていました。体育館自体は安普請の感じでしたが、これはドイツに地震がないためとの同行者の話でした。

入場する時ペットボトル飲料は持ち込み不可。コートへの投げ込み防止のためです。チアガール10数人がコートサイドで終始、試合を盛り上げていました。天井からはコート四隅にプロジェクタスクリーンが垂れ下がり、得点や個人記録の情報が映し出されていました。

ハーフタイムでは、動物の縫いぐるみが子どもたちの人気を集めていました。2階の通路はコートを一週できて、4コーナーに売店がありました。もちろんビールを飲みながら、ソーセージやサンドイッチを食べながら試合観戦するためです。こういう環境でヒキキのチームが勝つと最高ですね。

ハンドボールは4000人を集め、観客は試合も飲食も楽しんでいました。試合が終わっても帰らず、ワインやソフトドリンクを飲みながら試合の感想で盛り上がっていました。子どもたちはコートの中に入り、7メートルスローや思い思いに子ども用ボールで遊んでいました。

バレーボールは女子のチームでブンデスリーガの2部の試合でした。入場料は無料で、場内飲食自由は他の会場と同じでした。

3会場とも共通しているのは、観戦しながらの飲食が出来ること、観客席へは足で入場できること、そしてMCがコートサイドでマイクを持ちながら盛り上げていたことでした。

MCによる盛り上げは日本リーグでも行われていますが、今回感じたのはホームとアウェイで極端に差別していることです。

アウェイチームの紹介はチーム名だけで、それに引き換えホームチームはプロジェクタで一人ひとり大きな写真を映し紹介して、ホームチームの応援をあおっていました。

(続く)

# 県リーグ復活

## ジュニア強化 理事会・総会

総額697万3千500円

2010年度理事会・総会が2月26日、広島市東区スポーツセンターで開かれ、11年度事業計画、新予算案を原案通り満場一致で承認した。

事業計画では91年のアジア選手権開催にのりこみの県リーグ(一般)が復活。男子は12チームで1回戦総当たり、女子は4チームが加盟、6月から2回戦総当たりリーグを戦う。また、山口で開催される国体に向けジュニア層の強化に努める。

新予算は総額697万3千500円で前年度比48万9千円増となった。

### 功労者に日野・箕越氏

#### 2010年度県協会表彰

2010年度の優秀な成績を挙げた選手をはじめ指導者、レフェリー、功労者を表彰する「県協会表彰者」が決まり、26日に広島市東区スポーツセンターで行われた日本リーグ女子のメイプルレッズソニーセミコンダクタ九州戦のハーフタイムに表彰された。表彰者は以下の通り。

▽優秀選手【小学生】男子 住吉陸(安芸高田HC) 高木麻代(安芸高田HC)【中学生】男子 平田智己(甲田中) 女子 渡辺夏菜(亀山中)【高校生】男子 天野凌太郎(向原高) 女子 名明千佳(賀茂高)【大学生】男子 松並優希(広経大) 女子 門田幸子(広島大)【一般】男子 松村昌幸(湧永製薬) 女子 村山絵理奈(メイプルレッズ)▽優秀指導者 堀越健太郎(安芸高田HC)▽優秀審判員 檜崎潔(広経大)▽功労者 日野栄二(呉協会) 箕越秀美(安芸高田協会)

浜脇会長(後列左から2人目)を  
囲んで喜びの表彰者



#### 《県室内総合選手権 成績》

【大学男子】  
▽決勝(出場2校)  
広経大25(15-14、10-10) 24広島大  
【高校男子】  
▽予選リーグA組  
祇園北A28(14-5、14-9) 14呉 工  
祇園北A16(7-4、9-5) 9廿日市  
呉 工25(15-10、10-15) 25向原  
広 26(12-7、14-13) 20向原  
広 9(4-3、5-6) 9廿日市  
\*順位 ①祇園北A2勝②広1勝1分け③向原1敗1分け④廿日市1敗1分け⑤呉工1敗1分け(3-5位は得失点差による)  
▽予選リーグB組  
城北22(11-8、11-8) 16三津田  
城北19(9-5、10-11) 16呉 港  
修道18(10-7、8-6) 13三津田  
修道28(16-1、12-3) 4祇園北B  
呉 港13(11-5、2-5) 10祇園北B  
\*順位 ①修道2勝②城北2勝③呉港1勝1敗④三津田2敗⑤祇園北B(1、2位と4、5位は得失点差による)  
▽3、4位決定戦  
城北24(9-8、15-10) 18広  
▽1、2位決定戦  
祇園北A20(11-3、9-6) 9修道

### 小学生は安芸高田が独占

#### 県室内総合選手権

県室内総合選手権は2月19、20日、広経大石田記念体育館で行われ、小学生は安芸高田HCが高学年男女、低学年混成の3部門を独占した。一般男女は6日の同体育館で開かれる。

【中学生男子】  
▽1回戦  
修道中18(10-7、8-9) 16昭和中  
メイプル22(11-4、11-8) 12昭和中  
▽3位決定戦  
昭和中21(11-7、10-5) 12昭和中  
▽決勝  
修道21(10-9、11-9) 18メイプル  
【中学生女子】  
▽リーグ戦  
亀山中25(10-1、15-3) 4昭和中  
昭和中17(8-3、9-3) 6昭和中  
亀山中25(12-5、13-2) 7昭和中  
\*順位 ①亀山中2勝②昭和中1勝1敗③昭和中2敗

【小学生高学年男子】1回戦 安芸高田HC19(8-8、11-4) 12呉ジュニアHC、HC向原16(5-11、9-3、7MTC2-1) 15メイプルジュニア▽3位決定戦 呉ジュニアHC18(9-2、9-5) 7メイプル▽決勝 安芸高田HC31(14-6、17-3) 9HC向原  
【小学生高学年女子】1回戦 安芸高田HC17(7-5、10-3) 8メイプル、HC向原11(4-3、7-1) 4呉ジュニアHC▽3位決定戦 呉ジュニアHC12(7-4、5-5) 9メイプル▽決勝 安芸高田HC19(10-6、9-5) 11HC向原  
【小学生低学年混成】リーグ戦 安芸高田HC23(9-2、14-4) 6メイプル、安芸高田HC26(12-2、14-2) 4呉ジュニアHC、メイプル19(9-5、10-3) 8呉ジュニアHC\*順位 ①安芸高田HC2勝②メイプル1勝1敗③呉ジュニアHC2敗

■お願い■ 「ひろしまハンドボール」はお陰様で78号を迎えました。皆様のご協力あってのことと感謝しております。さらに充実させるため、ハンドボール関係者、愛好者からの情報提供は欠かせません。なんでも大歓迎です。試合結果だけでなく、イベントなどの話題でも結構です。どしどしお便りをお寄せください。お待ちしております。